

「まちづくりファンド」は、高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース

まちファン

34号

2020年2月29日

2019年公益信託「まちづくりファンド」中間発表会



「2020年1月19日(日)、公益信託「高知市まちづくりファンド」2019年度中間発表会を開催しました。助成先15団体50名と関係者が参加し、和やかな発表会になりました。」

それぞれの地域ですばらしい活動が始まっています

中間発表会プレゼンテーション

Bコース各3分、Cコース、Dコース各5分の持ち時間で活動発表を行います。各団体の発表を聞いて、参加者は各事業について良い点や質問・提案などを付せんに記入します。

今年度の助成15団体が日頃の活動について発表し、意見交流を行いました。発表会では「ほかの取り組みを見ることはとても参考になりました」「自分たちの活動とはまた違った活動内容を知れていい機会になった」などの感想をいただきました。



◀各団体のプレゼンテーション

付せん貼りタイム

参加者が各事業への意見を記入した付せんを各事業(団体)別のシートに貼ります。



▲付せん貼りタイム



▲運営委員が進行します

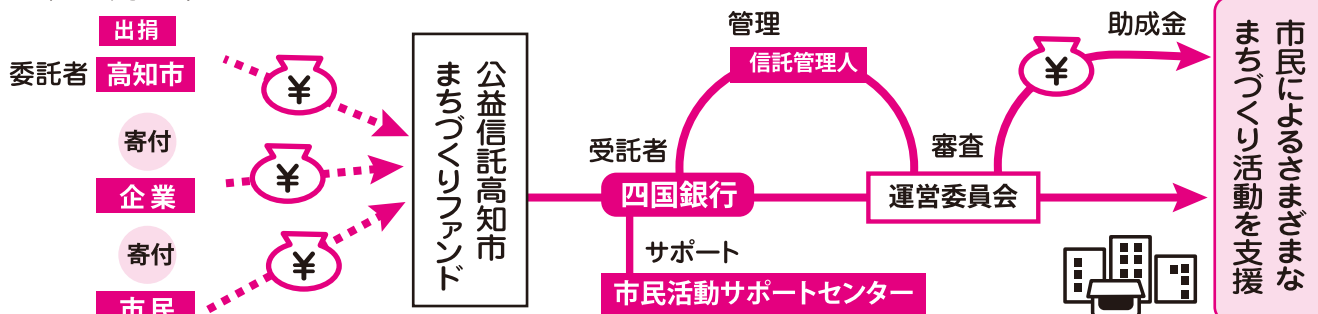


▲付せんをもとに意見交換

意見交流

運営委員の進行により、貼られた付せんの内容をもとに、すべての事業(団体)と意見交流を行います。

公益信託高知市まちづくりファンドのしくみ





②まちづくりはじめの一步コース

上限
5万円

B1

高知で自作甲冑をやろう

高知自作甲冑教室実行委員会

講演会の開催により、自作甲冑の認知度が上がり、県外団体と情報共有や高知城歴史博物館の担当者とも関係を構築できました。また、アンケートの実施により、地域での活動や観光面など、まちづくりに活かしたいと思いをを持った参加者も一定いることがわかり、歴史系組織、博物館からの期待が高いこともわかりました。

良いところ

- リサーチをされ、その結果を活動に活かしている
- とてもきれいに出来ていると思いましたが甲冑の出来が素晴らしいですね

●Q&A●

Q:「まちづくり」としての形は見てきたか?

A:教室自体が、人材づくりの場にもなっており、参加者自身が関わっている「地域のお祭り」や「まちづくり活動」にかいたいという声もいただくようになった。



③まちづくり一歩前へコース

上限
30万円

C1

第10回地域ふれあい祭り ～共助・近助で仲間づくり～

地域ふれあい祭実行委員会

祭りの回数を重ねるごとに来客が増え多くの方々に愛幸病院(入明町)の存在を知っていただき、病院が地域の拠点となることを目指すため、福祉、防災などの活動に向けてスタートでき始めています。今後日、愛幸病院が災害時等の「地域の拠点」となりお互いが支え合って生活していく事を目指していきます。

良いところ

- 色々な年齢層の方々に知ってもらおうという意思が伝わった
- 地域でふれあえる場所があるのはつながりもできて良いと思います

●Q&A●

Q:秋祭りはどんな方がどれくらい参加されているのか?

A:正確には把握していませんが、学生から年配者までたくさんの方に参加いただいています。販売した焼きそばは2時間で300食完売した。!(^^)!



B2 脳卒中で倒れ、入院先で命を救われた 障害者への将来に対するアドバイス

脳卒中交流会IN高知

あちこちに貼っているチラシを見て、脳卒中当事者の話し合いの場に、新たに参加してくれた当事者の方がいました。パンフレットを高知市内のすべての病院や居宅介護支援事業所に配布して、脳卒中になった方々のもとに、情報が届き、退院後の居場所となるように広報していきたいです。

良いところ

- 同じ病気を持っているその人々の心の支えになっていました、良い尊いを続けてほしいです
- みんなで活動することがリハビリですね!いつまでも活動(元気に)して下さい

●Q&A●

Q:当事者よりもある意味、介護者の不安が大きいと思われるが、介護の先輩としてのアドバイスは?

A:交流会の参加者は、当事者だけでなく、その家族や関係者も多く、意見交換の場になっているので是非おこしいだきたい。



C2

重度障がい児(者)や ご家族の為のスポ・レク活動教室

はなまるキッズこうち

月1~2回開催のハンディキャップヨガ教室では参加者の増加やリピーターも多く、特別支援学校などからのボランティアも来て下さり、本団体の活動を日常的に学校教育の中に取り入れて下さっています。また、保育園などからも依頼があり、今後も依頼が増えていくよう活動を継続していくことで繋がりを密にしていきたいです。

良いところ

- ハンディキャップをお持ちの方が安心して参加できるイベントは少ないと思いますいろいろな活動をされているのでご家族にとってありがたいと思います

●Q&A●

Q:サポーターを増やす為に、どのような活動をされていますか?

A:研修会開催で、活動の周知と理解をしてもらう草の根活動を続けています。一度関わってもらくと、リピート率は高いです。そのほか、SNSで発信など!!



15団体がファンドの助成を受けて活動しています

C3 潮江地区津波避難路・防災マップの作成

潮江防災士部会

潮江防災士において今回のマップ作成をすることで協力、周知・啓発を行ったところ、参加者も増加し会への関心も高まっています。また、地区の児童と共に防災意識が高まりマップ作製による期待度が高まっています。写真を掲載し地図の苦手な方でもわかるように、また実際に行ってみようと思えるようなマップ作りに取り組みたいと思っています。

良いところ

- 客観的にわかりやすい内容とするために細やかなフィールドワーク学校も巻き込んでいくところ
- 学校や関係機関フィールドワークなど連携や検討が十分重ねられている

●Q&A●

Q:大人へのハザードマップ配布訴求はどう考えますか？

A:小学生主体ではあるが、地域にもできるだけ配りたい。その為、市など行政にも協力をお願いしたい。



C5 地域を学び、地域を知って、新しいまちづくりに役立てよう

知ろう歩こう高知城下町の会

事業に参加された方は、このまちでそんな歴史があったとは今まで知らなかったと驚かれます。参加者には教育者、町内会・公民館活動のリーダーの方も多く、「郷土の歴史をもっと知りたいし、子どもたちにも教えたい」と、この事業に参加したことをきっかけに、町内会で町内の歴史を調べガイドブックを作り歴史散策を計画された方などもおられます。

良いところ

- 独自に確立した手法を他団体にも広めているので今後活動を一緒にする仲間になればよいですね
- 子ども向けのものを別で企画したいというのは確かにその通りだと思いました。

●Q&A●

Q:募集方法はどのようにしているか？是非参加したかったが、広報はどこで得ればよいか？

A:「龍馬パスポート」のホームページ、パンフレットから開催日時は確認できる。その他、講演会などでパンフレットを配布。



C4 旭オンリーワン芸術祭

旭オンリーワン芸術祭実行委員会

介護施設の中までは入る機会がない地域の方達が、活動を通じて施設の中まで入れるきっかけになりました。そして、施設内容を知り、興味を持っていただくことで事業所の理解に繋がりました。また、展示されている自分の作品を見つけた高齢者や子どもたちは、誇らしく豊かな表情になっていました。

良いところ

- 1つの作品で地域の方々が楽しめる活動が素敵だと思った
- 振り返り写真展の発想がすばらしい

●Q&A●

Q:旭の町住民の方々にどんな変化があったか？

A:スタンプラリーでの「まち歩き」では、普段歩かない場所に家族で行ったりと、毎年楽しみにされている。「地域の中の地域のお祭り」として定着しつつある。



C6 子育て座談会～個性・特性の違いが活かされる共生社会のために～

「育児は育自!」実行委員会

「お話できて良かったです。とてもスッキリしました。また来ます」「細々と抱えていた不安が解消されて気持ちが楽になりました。今日からまた頑張ります。来て良かった」といった声をいただいています。「話し相手がいなくて…」と孤独を感じていたお母さんが、話すことで気持ちが軽くなり、笑顔で帰られていく姿を見ると一定の影響は与えられていると思います。

良いところ

- 子育て中のお母さんの誰にも言えず苦しんでいる人たちに癒しの場、息抜きの場があるのはとても助かると思います
- 一人じゃないという安心の場は嬉しいと思います

●Q&A●

Q:相談となるとメンタルの専門知識も必要になってくるのでは？

A:スタッフは「メンタリング講座」を受講し「子育て支援アドバイザー」として対応にあたっている。



🐣 ⑦ まちづくり一歩前へコース 上限 30万円

C7 無料電話相談“聴いてもらって安心ホットライン”

特定非営利活動法人 キャリア・ライフ高知

話をお聴きすることでご自分の心の中が整理され、自信をもって今後の人生に向かっていく気持ちになられた方もおられます。一人一人が生き生きと生活されることにより、相談者を取り巻く周囲の方々の元気につながり、ひいては地域の活性化に繋がればと願っています。「高知にこんな相談するところがあるんだ」と喜ばれ、安心して生活していける一助になっていると思っています。

良いところ

- 昨年の反省点を活かした活動が出来ている点、定期的にセミナーを開催出来ている点
- まちづくりとしては見えにくい活動ですが身近に必要な活動だと思います、頑張ってください



●Q&A●

- Q: 相談委員はどのような方が務めているか?
A: 「キャリアコンサルタント」の資格者が二人一組で対応
- Q: 電話相談のメリット、意義はどんなところにあるか?
A: 気軽である。顔は見えないが、心の中を声のトーンや、話しぶりで相手に伝えることができる。

C9 歴史を通して高知市への想いを深め、地域と人を結ぶ

長宗我部会

高知市内の長宗我部家ゆかりの神社、施設と連携が出来ました。子供連れの参加申し込みがあり、これからの地域歴史活動への参加が見込まれます。高知の歴史遺産、長宗我部家所縁の地をバスツアーで訪れ、参加者への歴史伝承、地域愛を歴史を通し人と地域の交流をつくることを目的とし、引き続き大河ドラマ署名運動、長宗我部よさこいを通じた歴史活動、会員増に向けて進めて参ります。

良いところ

- 子ども参加が多かったところが良いと思った
- 高知を広める手段として、長宗我部を使っているのはいいと思います



●Q&A●

- Q: ムードの盛り上がり、手ごたえを感じたエピソードなどはあれば?
A: 雪隠寺でのイベント中、参加の子供達一人ひとりがお線香を受け取る場面では、今まさに子供と地域が繋がっている瞬間だと感じた。

C8 いろいろな楽しむ演劇Project

特定非営利活動法人 ワークスみらい高知 藁工ミュージアム 社会福祉法人さんかく広場

「四国手話学習会」講演会で障がいがある人もない人も舞台芸術を楽しむための取り組みがテーマとして取り上げられました。厚生労働省「障害者芸術文化活動普及支援事業」「四国フォーラム」においても舞台での手話を体験するワークショップが実施される予定で、舞台芸術とともに楽しむ基盤づくりに向けた動きが他団体でも見受けられます。また、上演を手伝いたいと言ってくれる方が増えています。

良いところ

- 障がいの有無にかかわらず楽しめたらという点が良いと思う。
- まちづくりとしては見えにくい活動ですが一人一人への身近な活動で必要な活動だと思います、頑張ってください



●Q&A●

- Q: 障がい者が演劇にかかわることでのどのような変化がうまれるか? また周りの方(家族など)は?
A: これからの開催になるのでもまだわからないが、過去事例では、「自分が通う施設以外でコミュニケーションをとる機会が少ない為、良い機会になった」といった声がかかる。

C10 産官学民連携によるあじさいの花復活を通じた地域コミュニティ活性化事業

はるのあじさいコミュニティクラブ

今後も地域の方々と共に地域のアジサイを守り続けていくことが、大切だと感じました。「アジサイ街道」を守り続けるためには、一年中、手入れが必要であり、その手入れをするには人手と労力が不可欠です。しかし、アジサイの手入れをされてきたのは、地域の高齢者の方々です。今後も「土曜夜市」や「あじさい祭り」をきっかけに若者が地域とつながる場所を創出したいと思いました。

良いところ

- 年齢別、ターゲット別に見せ場を考えたのはよくできていたと思いました
- アンケートを取り分析されているところが良いと思いました



●Q&A●

- Q: 若者の集客が良かったようだが、どのようなSNSが効果あったか?
A: 学生自身でゲームを企画した効果もあり、お互いがLINEなどで乗り合わせでの参加を呼びかけなど、様々な相乗効果が生まれ、結果として若者の集客につながった。

C11 高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし創り

高知ビッグバンド

セカンドライフを迎えた人々は地域のスキルをもった資源、宝です。今回は社交ダンス、カラオケとそれぞれの愛好者グループと私たちのバンド演奏が一体となり、波動が生じました。高齢者がいきいきと健康的に過ごし、今後の日常生活へのステップアップへと繋がっていかばと思います。

良いところ

- 実行力、行動力がすばらしい
- 発表者最高です
- 発表からも大いと楽しんでおられることがつたわかりました、素晴らしい!

●Q&A●

Q: 今後行いたい活動は? またどういう目的で行うのか?

A: 現在、社交ダンスクラブ、カラオケクラブと三位一体で活動。今後さらに進化させ、それぞれの愛好会が活躍するとともに、ビッグバンドは黒子の役割を担いたい。



C12 井戸端わもんを地域へ。こころの居場所づくりプロジェクト

特定非営利活動法人 井戸端わもん

これまでサロンに訪問いただいた方、そして話の聞き方教室に参加いただいた方々は延べ人数では一定の利用をいただきました。話を安心安全にできる場所の必要性。そして、参加したくても一歩が踏み出せない実情も把握しました。話の聞き方教室に参加いただいた方が、次は地域の良き聞き手となって、地域づくりの新しい芽となる実感もしています。この連鎖をこつこつと続けていきたいと思ひます。

良いところ

- 高知のおんちゃんは人の話を最後まで聞かない人が多いのでいい試みだと思ひます
- 「聞く力」を強めることで人とのかかわり、色々な活動が豊かになりそうだなと思ひた

●Q&A●

Q: 地域の人が集まっているサロンなどに出張してくれませんか?(高齢者サロン、認知症カフェなど)

A: 大歓迎です。スケジュールのつく限りいろいろな場所に出向き、まずはきっかけづくりをおこないたいのでは是非お声がけいたしたい。



D1 「高知こどもの図書館」の移動に伴う図書館の整備

認定特定非営利活動法人 高知こどもの図書館

高知こどもの図書館は利用者、会員の皆様の支持によって開館20周年を迎えようとしています。オーテピアや蔦屋書店など、こどもたちが楽しく文化的に過ごせる場所もできましたが、こどもの本や子育て支援のための活動など、こどもたちの考えを主体的に活動していく場所としてオーテピア、高知県立文学館などと連携し、高知公園内という地の利を活かした活動を目指しています。

良いところ

- 今後は出前で地域のいろんな場所でされるとのこと、広がり期待されると思ひます
- フリースペースは多様性があると思ひます

●Q&A●

Q: 旧図書館と新図書館を比べて大きな違いは?

A: 立地、内部環境が大きく違う。道路端から高知城敷地内になるので子どもにとっても安全。また、障害者も利用しやすいフラットなスペースになっている。



寄付のお願い

まちづくりファンドは皆様のまちづくり活動を支援する仕組みです。

まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐(しゅつえん)された基金を毎年取り崩しながら助成しています。少しでも長く市民のまちづくり活動に活かされるよう、多くの皆様のご寄付をお願いいたします。

寄付に関するお問い合わせ・お申し込みは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行 コンサルティング部 信託担当

TEL088-871-2337(直通)

〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

●中間報告会を終えて

<p>●運営委員長 増田 和剛 (高知中・高等学校)</p> <p>まちづくりといえば『繋がる』という言葉の思い浮かべます。日々の活動と、多種多様な活動との出会いが活動の幅を大きく広げます。</p> 	<p>●副運営委員長 堀 洋子 (社団法人高知県建築士会)</p> <p>助成団体の内容は様々でしたが、どの団体様も活動をする中で疑問を解決され、又後半・次年度に向かって取り組まれています。</p> 
<p>●運営委員 石川 貴洋 (NPO法人環境の杜こうち)</p> <p>前半戦で手応えを得た団体が多かったよう。他団体とのコラボに積極的な団体も増えた印象。まだ半分! 後半戦に期待が膨らみます。</p> 	<p>●運営委員 宮地 貴嗣 (ラ・ヴィータ宮地電機株式会社)</p> <p>お互いの活動を共有しあえてよかったです。高知市を良くするため、高知市民の皆さんに喜んでもらえる活動を、進めてください。</p> 
<p>●運営委員 花岡 英里子 (高知大学)</p> <p>新たな価値を創出したり、個人や団体間のつながりを構築したり、継続的な活動を視野に入れたりした活動が多いと感じました。</p> 	<p>●運営委員 片岡 照敏 (社会福祉法人てくとこ会 自立訓練施設てくとこ・せと)</p> <p>今年度の15グループのそれぞれのまちづくりが、今回の発表を経て7月にどういう着地をされるのか、いまから楽しみにしています。</p> 
<p>●運営委員 田中 希和 (公益財団法人 高知市文化振興事業団)</p> <p>他団体の取り組みの中に、自分の団体で参考になる部分を見つけた方もいたのではないのでしょうか。最終発表会が楽しみです。</p> 	<p style="text-align: center;">2019年度 最終発表会 2020年7月18日(土) ※予定</p>

増田ノオト 中間発表会を終えて一委員長のつぶやき

1年1年活動が成長していくためには、活動を振り返る発表の場がとても大事です。今回の中間発表会を機に、これまで見えなかったことが、参加を機に見えてきたという団体も少なくないはず。また、活動を通じてたくさんの人を喜ばせ、地域を元気にしてほしいと願っています。

活動を成長させ、地域を元気にするためのポイント

- ・自分たちの活動を何処まで成長させていきたいかという目標をしっかりと持つ事(活動ビジョン)
- ・活動をするための関係の構築(仲間づくり)
- ・情報を交流させる(意識の輪を広げる)
- ・地域をつなげるきっかけづくり(活動の継続)
- ・活動の認知度をあげる広報手段として、チラシ、SNSよりも声かけが一番(顔の見える活動)
- ・アートでつながるまちづくりには、人との距離を縮める効果がある。(活動を通じた異年齢交流)



お問い合わせ

高知市市民活動サポートセンター
(月～金 10:00～21:00、土 10:00～18:00)
TEL 088-820-1540
〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43
高知市たかじょう庁舎2階
E-mail info@shiminkaigi.org
<http://www.kochi-saposen.net>

市民活動の輪を広げようと、1999年4月に高知市が設置した施設です。現在、「認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議」が運営を担っており、貸会議室の利用(要登録)、ボランティアや市民活動に関する様々な相談や情報提供、活動に必要な機器の貸出しにも応じています。仲間を広げたり、活動のお知らせをする掲示板や団体が利用できるメールボックスもあります。活動の参考になる講座等も開催していますので、お気軽にご利用ください。